

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

政策名	1 グローバルロジスティクスの港		23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 海務課長
基本施策名	01 国際・国内海上輸送機能の強化		事務事業	成果	コスト	連絡先 052-654-7880	連携課 港湾管理事務所
個別施策名	06 船舶の安全かつ円滑な入出港を確保する						
事務事業名	03 船席指定事務		継続	維持	維持	事業期間 昭和26年度～継続	
目的	船社や港湾運送事業者が安全かつ効率的に荷役作業をし、施設を有効利用できるようにします。					根拠 法令等	名古屋港管理組合港湾施設 設条例及び同施行規則
概要	入港する船舶に対し、貨物、船型等に合致した船席指定及び係留位置の調整を行います。					実施 義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	原則として、週3回、船舶代理店及び関係港運会社と調整の上、パースを決定しています。また、入港船の課金トン数の確認、計算を行い、入港料及び使用料の調定業務を行っています。なお、夜間、休日の緊急対応のため24時間の当直体制で業務を行っています。					関連 シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した 内容・結果	週3回、船舶代理店及び関係港運会社と調整の上、パースを決定しました。また、入港船の課金トン数の確認、計算を行い、入港料及び使用料の調定業務を行いました。なお、夜間、休日の緊急対応のため24時間の当直体制で業務を執りました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	0	0	0	0	0	(款項目節)
一般会計	千円	0	0	0	0	0	(算出計算式)
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費 計	千円	78,930	77,238	58,943	65,943	60,576	(その他)
正規職員	人	9.00	9.00	6.95	7.65	6.95	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	78,930	77,238	58,943	65,943	60,576	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
パース会議開催回数(回)	目標	156	156	156	154	153	153	荷役作業の効率化、係留施設の 有効利用のためパース会議を実施。 適正な船席指定件数÷係留施設 使用許可件数
	実績	156	156	156	154	153		
	達成率(単年度%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
適正な船席指定率(%)	目標	100	100	100	100	100	100	適正な船席指定件数÷係留施設 使用許可件数
	実績	100	100	100	100	100		
	達成率(単年度%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						名古屋港は、一般貨物船、コンテナ船、自動車専用船等、公共岸壁利用が多く、公平性を鑑み、利用調整を行っています。船席指定に際しては、貨物の種類に応じた地区、岸壁構造、水深等を勘案し施設を提供しています。
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						利用者ニーズに応えるため、パース会議日以外でも情報を入手し、目標を達成しています。
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						2名当直の体制を敷き、24時間対応としています。
	受益者に適正に負担させているか?	<input type="checkbox"/> ○ × <input checked="" type="checkbox"/>						
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			適正に業務が行われているため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
引き続き事業の成果とコストの適正適切な維持に努めます。				